

**国立広島原爆死没者追悼平和祈念館令和7年企画展シアター映像制作業務に係る  
受託候補者の選定のためのプロポーザルの審査結果について（報告）**

1 日時

令和6年7月1日（月）午前10時50分～午前11時30分

2 会場

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 地下1階 研修室3

3 審査委員

名 前	職 名	備 考
漆原 正浩 (うるしはら まさひろ)	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館館長	委員長
豆谷 利宏 (とうや としひろ)	広島平和記念資料館副館長（事）学芸課長	副委員長
上村 健 (うえむら けん)	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館副館長	
宇多田 寿子 (うただ ひさこ)	広島平和記念資料館学芸課課長補佐	
橋本 公 (はしもと いさお)	国立広島原爆死没者追悼平和祈念館主事	

4 提案者（1者）

a 社＝ホームテレビ映像株式会社

5 選定の手順

プロポーザル説明会では、参加業者（社名は隠し仮称を使用）が、企画提案を約15分で説明し、約10分間の質疑応答を行った。

その後、審査委員会においてそれぞれが提案に対する意見・感想を述べ、審査用紙に評価を記入した。事務局が審査用紙を回収して総得点を集計し、下記のとおり、集計を行った。

評価得点は基準点である45点以上を満たしており、審査委員会としてその結果に異論がないこととなったため、a社を本業務の受託候補者として選定した。

審査時 仮称名	会社名	合計点	平均点	順位
a 社	ホームテレビ映像株式会社	293	58.6	1

## 6 審査結果

ホームテレビ映像株式会社が本業務の受託候補者として選定された。

なお、今後、この審査結果をもとに、業者受託の手続きを進めることとする。

(選定理由)

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館令和7年企画展シアター映像制作業務に係る受託候補者の選定のためのプロポーザルにおける審査の結果、企画提案が優れていると認められたため。